

	山口大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部保健学科 看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名） 検査技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名） 医学系研究科保健学専攻（M：12名、D：5名）
沿革・設置目的	山口大学医学部附属看護学校、附属衛生検査技師学校を経て山口大学医療技術短期大学部が設置された後、平成12年、豊かな人間性と広い視野をもち、変化する医療環境と、医療に対する社会的要請に応えられる医療従事者および将来指導者・研究者となる人材養成を目的とした医学部保健学科として設置された。 昭和24年（1949年） 山口大学設置 昭和27年（1952年） 山口県立医科大学附属准看護婦養成所開設 昭和29年（1954年） 山口県立宇部高等看護学校開設 昭和32年（1957年） 山口県立医科大学附属高等看護学校開設 昭和35年（1960年） 山口県立医科大学附属衛生検査技師学校開設 昭和42年（1967年） 山口大学医学部附属看護学校、山口大学医学部附属衛生検査技師学校へ名称変更 昭和47年（1972年） 山口大学医学部附属臨床検査技師学校へ名称変更 昭和54年（1979年） 山口大学医療技術短期大学部看護学科設置 昭和56年（1981年） 山口大学医療技術短期大学部衛生技術学科設置 平成12年（2000年） 山口大学医学部保健学科設置 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成17年（2005年） 医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置 （平成19年（2007年）に博士課程後期を設置）
強みや特色などの役割	○ 山口大学の理念等に基づき、豊かな人間性・社会性を持ち、多職種の役割を理解しチーム医療の一員として活躍できる能力、医学・医療の国際化に対応できる能力を有する医療人材を養成する。 ○ 大学院において、急性・重傷患者看護専門看護師をはじめとする、地域で指導的役割を果たす看護師や看護教育者を養成する。再生医療及び細胞療法の実践的教育等をモデルとして全国へ波及させることにより、臨床検査技師の活躍の場を広げることに寄与する。

- 女性の健康課題や高齢者ケア等の看護研究、臨床検査診断の標準化等をはじめとする保健系分野の研究と医学・工学・農学・理学の研究との融合や、他大学・企業との共同研究や海外プロジェクト等を積極的に推進し、地域医療の向上や新たな医療技術・医療機器の開発に寄与する。